



活動団体ご紹介

市民自然観察会

西の湖に飛来する野鳥や身近に自生する野草の観察
だけではなく、月に一度は西の湖一帯のゴミ拾いや草刈を行い、毎年一月にはヨシ刈りイベントを開催。西の湖の湿地環境保全に尽力されている市民自然観察会さん。

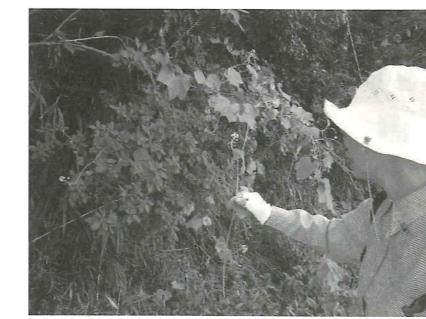
先日自然観察に同行させてもらい、沖島へ。台風 18 号が過ぎ去ってすぐだったこともあり水位の上がった琵琶湖の様子、島内の土砂崩れの様子などを目の当たりにして自然の脅威を改めて実感。

従来の動植物などの観察会だけにとどまらず多義的な自然観察会を開催されることで人と自然、人ととの距離を再考する“きっかけ”づくりも大切にしながら、活動を続けておられる会員の皆さんと、有意義な時間を過ごしました。



野鳥や野草に詳しくなくても地元の自然を感じて、明るく元気な会員の方達との交流で環境保全への関心を持つことが出来るのではないかと思いました。

市民自然観察会 担当：西崎さん ☎0748-33-1667



お知らせ

次回『第39回八幡塾』開催予定

講演会テーマ：“信長と安土城”

講師：脇田修氏（大阪大学名誉教授、大阪歴史博物館館長）

主な著作…『織田政権の基礎構造』（東京大学出版会 1975 年）

『織田信長』（中公新書 1987 年）など

日時：平成 26 年 3 月 8 日（土）開演：13:00 参加費：無料

会場：安土セミナリヨ … 近江八幡市安土町桑実寺 777 番地

八幡塾初の安土町での開催です。たくさんのご参加お待ちしております。



（一財）ハートランド推進財団 事務局

〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地（白雲館内）

TEL.0748-33-5510/FAX.0748-33-5697

E-mail: chukan@npo-omi8man.ne.jp

《交通のご案内》

JR 近江八幡駅北口バス乗り場より近江鉄道バス「長命寺」行き→「大杉町」下車、徒歩 2 分



この印刷物は、琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付印刷用紙びわ湖環境ペーパーを採用しています。また、適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙を使用し、大豆油インキを含む植物油インキ及び、有害な溶剤を排出しない水なし印刷を行い、その製造及び商業におけるCO₂排出量はCO₂を通じカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO₂排出量は上記の通りです。

はーとらんど

通信 vol.2
2013.12月号

（一財）ハートランド推進財団 情報誌



心のふるさと
みんなが主役のまちづくり

八幡堀に降り積もった落ち葉に過ぎ行く秋を感じる頃となりました。

一般財団法人ハートランド推進財団の情報誌をお届けします。

第12回 八幡堀魚釣り大会

平成 25 年 7 月 15 日（月・祝）開催

水と緑の市民環境ネットワーク螢部会主催の毎年恒例のホタル鑑賞会。18 組のご家族、総勢 53 名の皆さんのが参加下さいました。市役所からバスで鑑賞場所へ移動して、暗い川沿いで目を凝らしながら歩いていると、チラチラとホタルの小さな灯りがあちこちにふわふわ飛んでいる様子が鑑賞出来ました。参加者さんから「ホタルが飛んできてくれた」と歓声が上がりたり、帰り際、捕まえたホタルを「持つて帰る~!」と言うお子さんに「自然に返してあげようね」と諭されているお爺ちゃんお婆ちゃんの姿があつたり、ご家族それぞれ楽しんでいただけたのではないかでしょうか。

来年もたくさんのホタルが見られるように、環境保全への意識を持ち続けたいですね。



八幡堀を守る会主催の今年で 12 回目を迎える八幡堀魚釣り大会は今年も大盛況!近江八幡市内だけでなく、市外からも遠くは奈良県からの参加があり、参加者数は約 200 名。好天に恵まれ、市長賞を獲得した親子は 233 匹を釣り上げました。中には在来種の鮎 35cm を釣った人もおられ、午前 8 時から 11 時までの八幡堀は釣り人大いに賑わいました。

市長賞の他に 172 匹を釣り上げた教育長賞、108 匹の八幡堀を守る会賞、94 匹の敢闘賞、11 匹の努力賞など表彰されました。釣れた魚の内訳を見るとブルーギルが 1,646 匹と最も多く、在来魚はたった 4 匹と

いう結果に驚きました。



前理事長 前田典夫氏を悼む ～追悼文～



川端 五兵衛氏 寄稿

前田さんとの初めての出会いは京街道小幡町の角に在ったあわ八さんから2軒西隣りにある灰久さん、つまり中村統太郎さんのお宅でした。昭和25年中村先生は京大の4回生で私は中学1年生、同級生二人と一緒に英語を教えてもらっていました。

ある日、中村先生が京大の後輩で同じ法学部の前田くんは、英語が飛び切り良く出来るので一度紹介しようと電話をお掛けになりました。しばらくして前田さんはお父さんがアメリカからわざわざ輸入されたというタイプライターをもってお越しになり、ガシャガシャと私たちの目の前でタイプを打ち始められました。私たち3人は生まれて初めて見る機械の奇妙な動きに見とれていました。それはまるで今で言う宇宙人がやってきたかの如く、ただボー然と眺めるだけでした。やがて前田さんはタイプライターからインディアンペーパーを引き出されると私たちの前におかれました。そこには難しそうな英語がぎっしりと印刷され、何が書いてあるのかさっぱり判りませんが、兎に角すごい人が世の中におられるものだと思いました。これが前田さんの第一印象でした。

もう一つのエピソードは、平成10年前田さんの発案で琵琶湖周航の歌碑が長命寺の湖岸に作られた時のことでした。除幕式に市長としてお招きいただき、歌碑の文言を改めて拝見し少し不思議に思うことがあり、前田さんに質問しました。歌碑には「西国十番長命寺 汚(けが)れの現世(うつしよ)遠く去りて 黄金(こがね)の波に いざ漕(こ)がん 語れ我が友 热き心」とあります。これについて私が「長命寺さんは西国三十一番札所なのに作家が間違われたのですか」と質問しますと、前田さんは「作詞をした三高のボート部の小口太郎さんは三十一番では語呂が合わないので長命寺の和尚さんに会ってお許しを得て十番にされたのでした」と説明をされ、なるほど納得したことがあります。これも何か前田さんらしい思い出であります。

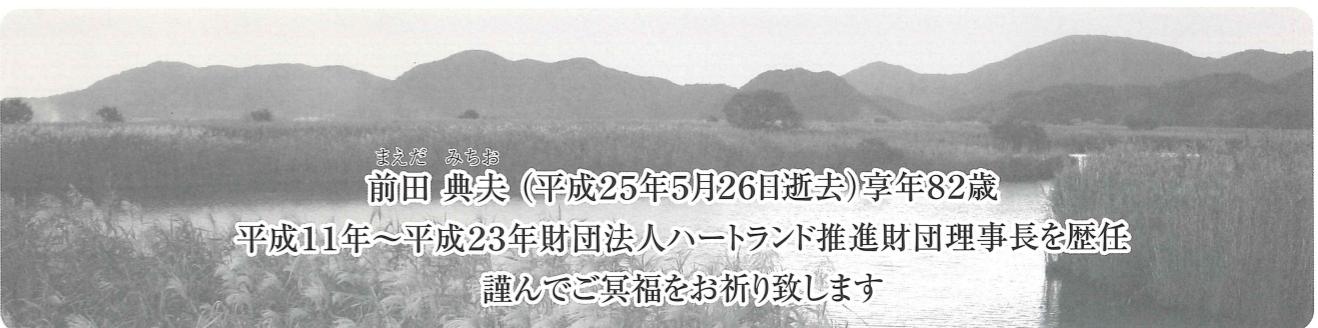
さて、前田さんがハートランド推進財団の理事長にご就任いただいたのは、平成10年末小学生が市長就任を機にお願いをし、お引き受けいただいたことに始まります。前田さんの理事長としてこれまでのご功績は「八幡塾」を実に37回開催されました事をはじめ論語を学ぶ「白雲塾」また第二次大戦の思い出を語る「水雲塾」の開塾、近江八幡出身で全国で活躍される方々による「郷土の若人へ 励ましのメッセージ」の冊子の編集、「気になる木」の発刊など市民の郷土愛を高める数多くの事業を展開してくださいました。そのご功績は枚挙にいとまがございません。

別けて、ハートランド推進財団理事長としての最大の功績といえば、西の湖と長命寺川をスイスジュネーブに本部が置かれ世界の湿地の保全に取り組まれる国際機関よりラムサール条約

登録湿地に追加登録が認可された事でありましょう。この事業は私が市長時代前田さんに是非お手を貸してほしいとお願いしたことから始まりました。平成10年当時、ラムサール条約登録湿地には北海道釧路湿原をはじめ全国で47ヶ所が登録されていました。

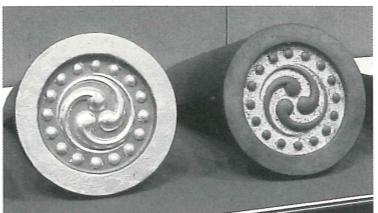
しかし滋賀県では当然琵琶湖は入っていますが、これにつながる内湖は正にこれこそが我国の湿地を代表するものであるにも拘わらず、当時はただの一ヶ所も登録されていませんでした。私は市長としてラムサール条約の全国市町村会に出席するたびに西の湖の登録を訴えてまいりましたが、残念ながら県の支援さえ受けられず、まったく願いは叶いませんでした。何回目かの全国会議の後、前田さんに「何とかしたいのだがどうしたらよいのでしょうか」と相談致しました。そのとき前田さんはおっしゃいました。「私の生涯の仕事としてやりましょう!!」思いもかけないお返事に私は心底驚き感激したことを今でもはっきり覚えています。それからというもの、市との二人三脚が始まりました。前田さんは得意の人脈をフル動員し、あの江戸幕府の徳川家康公のご子孫が会長をされている(財)世界自然保護基金 WWF に協力を求められ、この一大事業はスタート致しました。私はその間、平成17年八幡堀と西の湖を国の重要文化的景観第一号としての指定を獲得し、前田さんのラムサール運動の下支えをいたしました。そして遂に平成20年10月琵琶湖に追加登録という形で長命寺川、西の湖の登録を果たしていただきました。市民はもちろん県民のみなさんと共にここに改めて前田さんに感謝の意を表する次第です。本当にありがとうございました。これで西の湖は世界の注目の下にその自然環境の保全は進みます。しかしこれに甘んぜず自らラムサールの名に恥じぬよう保全に努めることが責務であり、ここに改めてお約束いたします。

さて最後になりましたが、前田さん永い間本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。天国から残された私たちをお守りください。

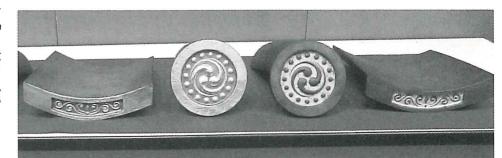


コラム

信長と秀吉 金箔瓦再現



近江八幡市郷土史会員の松井秀夫さんが、信長と秀吉が居城に使った二種類の金箔瓦を再現されました。現在近江八幡市立かわらミュージアムのエントランスホールに展示されています。当時の最新技術を駆使して作られていたことに製作された松井さんは大変感心されたそうです。信長と秀吉、対照的に金箔が施された瓦を是非一度ご覧いただき、戦国の乱世に思いを馳せ、他にもたくさん貴重な瓦の展示もお楽しみいただき八幡瓦の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



■かわらミュージアム ☎ 0748-33-8567 入館料／大人 300 円、小中学生 200 円